

銚子ロータリークラブ会報

第3333号 2025年1月12日(水)発行

例会場 銚子商工会館5階大会議室(銚子市三軒町19-4)

TEL0479-23-0750 FAX0479-25-8789

本日のプログラム

「創業による地域おこし」

銚子市地域おこし協力隊 小沢 智樹様

前回例会報告(11月5日)

点 鐘: 淵岡 彰介会長

国歌君が代斉唱 ロータリーソング: 奉仕の理想

ビジター紹介: 米山奨学生 解 少瀨様

会長挨拶

本日は、2日に開催された「地区社会奉仕セミナー」の概要を報告します。会の冒頭で時田ガバナーから説明がありましたが、時田ガバナーはガバナー就任前から環境問題に高い関心をお持ちだということで、ロータリーの重要な活動分野の一つである「環境の保護」を日々のロータリー活動にどのように取り入れるかを考えてもらうことが本セミナーの目的でありました。

開催場所は、千葉市にある1904年に創立された植草学園大学という専門大学でしたが、この大学の中に2ヘクタールに及ぶ植草共生の森という自然林があること、大学の植草理事長が千葉幕張RCの会員であることがその理由でした。この森は、環境省から自然共生サイト(国際的な生物多様性保全の枠組みで定められている、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全するという“30by30目標”を達成するために、民間の取組によって生物多様性の保全が図られている区域を日本が独自に認定する制度)として認定されており、外部にも開放されています。セミナー当日は、この森の中を参加者全員で散策しましたが、自然林として整備されており気持ちの良い散歩になりました。

それ以外の登壇者としては、

・環境省から「先ほど述べた“30by30”という

2025-26年度フランチエスコ・アレッツォRI会長

目標と自然共生サイトに関する最近の動向に関する説明」

・君津市及び同市と協定を結んでいる企業(九州に本社がある内山緑地建設)から、自然共生サイトに認定されている“君津グリーンセンター”内に位置する“きみつのさんぽ道(37ha)”に関して「民間企業による自然共生サイト運営と地域行政からの支援と環境取組」の説明

・大手ゼネコンの1社である竹中工務店から、同社が取り組んでいる“調の森”という「人と自然をつなぎ、自然共生の実現を目指す取組」に関する説明がありました。

いずれのお話も普段聞く機会の中々ない内容でしたので、興味深く拝聴できました。社会奉仕委員会所属の方々は、回覧している資料をご覧になって当クラブでできることなどアイデアの検討を頂けますようお願い致します。

第5回定例理事会報告

- 1) 11月12月1月プログラムの件..... 承認
- 2) 観月会決算案の件..... 承認
- 3) クリスマス家族親睦会の件..... 継続審議
- 4) 両クラブ合同スポーツ大会の件..... 承認
詳細は東クラブと協議
- 5) 千葉科学大学青澄祭の件..... 承認
参加者はMU対象

幹事報告【週報拝受】銚子東RC

1. 第6回プラモデル同好会ご案内
2. 財団室NEWS 2025年11月号
3. ロータリーの友11月号目次
4. ガバナー月信2024-25 vol.13
5. ロータリー財団月間リソースのご案内
...ガバナー事務所
6. ロータリーの友購読申し込みのご案内
...一般社団法人ロータリーの友事務所

銚子RC Email d2790@choshi-rotary.club



【11月ロータリーレート】1ドル=154円

【例会変更】

旭 RC

- 11月7日(金)振替休会(旭市産業まつりへ振替)
- 9日(日)旭市産業まつり
(ポリオ撲滅募金活動)
- 14日(金)ガバナー公式訪問
- 21日(金)休会定款第7条第1節(d)により
- 28日(金)夜間例会ホテルサンモール 点鐘18:30

会員の記念日

お誕生日おめでとうございます。



上総 泰茂会員
(11月3日)

- 結婚記念日 高橋 宏資会員(10月31日)
- 入会記念日 猿田 正城会員(10月30日)
- 創業記念日 加瀬 隆会員(11月2日)

ニコニコBOX

◇大里 忠弘会員



先日の歓迎会ありがとうございました。ジェン、スチュワート夫妻大変喜んでおりました。猿田会員にもお世話になり、御礼申し上げます。

卓 話

「ダバオ支援活動報告」

信太 秀紀国際奉仕委員長



みなさんこんにちは。9月13日から3日間、盲学校への支援プロジェクトを遂行するためにフィリピン、ダバオへ行ってきました。私自身5年ぶり8回目の訪問になります。これまでを振り返ってみますといろいろなことがあったわけですが、フィリピン支援に一番感じるのは「言葉の壁」です。サウスダバオロータリアンとのコミュニケーションは当然身振り手

振りが中心になります、より深刻に感じるのは盲学校を訪問した時です。もはや身振り手振りも通じないのです。「我々のことをもっと強く印象に残せないか？どうやったらコミュニケーションをとれるだろうか？」と、彼らの演奏を聴いている間、考えていました。思いついたのは「音楽」を表現することでした。生徒からギターを借りて演奏したこともありました。

ストリートチルドレンとの出会いも衝撃的でした。この子供たちは、両親もいないし、家もないために、食べるものもありません。その上、毎日パーキングや、道路の上で眠るのだそうです。それでも、陽気にとても明るいのです。炊き出しのご飯を喜んで何杯でも食べる姿を観ているうちに、私の隣にいた、キムユリ(米山奨学生)さんの目から涙がこぼれていました。

ここで素晴らしいのは、ボランティアで指導する先生の考え方でした。決して「媚びたり、物乞いしたりしてはいけない、物を売きなさい。」それに沿って、駐車場で案内したり、花のブレスレットやネックレスを売っているのだそうです。この子供たちはしばらくすると、とても勉強したがるのだそうです。それは「だまされないため」です。算数ができないとお釣りがまかされるからです。もう少し大きくなると、自分を守るために国語が必要になります。字が読めないと危険な場所がわからないのです。また回覧板を読めると、必要な情報を得たり、人間関係を築いたりできるのです。さらに「自分の得意分野を見つけるため」勉強したくなります。自分のことはわからないものです。学んでいくうちにわかってくる。そして扉を押し開いたように新しい自分の世界が広がってきます。

私たちは、世界に一人でも不幸な人がいる限り、私たちの真の幸福など無いのだと肝に銘じなければなりません。





林 紀宏会員

ダバオ視察の説明



11月分米山奨学金交付



委員会報告

寺内忠正クラブ研修・情報委員長



ロータリーの友11月号読みどころをご紹介します

島田洋二郎青少年奉仕委員長



千葉科学大学青澄祭
8日(土)・9日(日)
ローターアクトクラブは屋台にて、パンケーキを販売します！ぜひご来場ください。ご協力お願いします。MU対象となります。

【出席報告】

会員総数 34名 出席計算 32名
出席 23名 欠席 9名
出席率 71.88%
欠席：東川君・石毛君・村田君・中村君
大里君・佐藤君・須永君・時友君
吉原君

【M U】

11/8 クラブ活性化セミナー 高橋君
11/8.9 千葉科学大学 RAC 青澄祭
藤本君・石毛君・島田君
11/11 銚子東RC 金島君

【ニコニコ】

ニコニコBOX	¥ 8,000	計	¥158,350
スモールコイン	¥ 1,795	計	¥ 22,038
米山BOX	¥ —	計	¥ 17,601
希望の風	¥20,100	計	¥107,100

次週（11月19日）プログラム
「東北5県ロータリーたにわたり」
金島 弘会員
お弁当：茂利戸家（天井）

千葉科学
大 学



米山奨学生
解 少瀨さん



RACメンバー
模擬店にて
パンケーキを
販売

第 3331 回例会 10 月 29 日卓話

75-76 年度交換留学生 ジェニファー・ギルバート様



皆さん、今日は。今日の銚子ロータリークラブの例会にでさせてください、ほんとうにありがとうございました。とくに、寺内さん

に感謝しております。ぜんぜん知らないオーストラリア人からメールを受け取ったとき、すぐにゴミばこ Folder にいれず、親切に読んでくださいました。それが私と夫が今日ここにいる理由です。もちろん、大里忠弘さんにも大変いろいろと感謝しております。

皆さんにおつたいことは大変懐かしい思い出なのに、今でも私の人生にとって、とても大切なことです。

50年まえに、昭和50年1月18日に、オーストラリアのアデレードから、ギルバート・ジェンというロータリー交換留学生は羽田空港に着きました。朝早くだけど、ホスト・ファミリーの大里さんたちが私をむかえにきてくださいました。

真夏のアデレードから真冬の日本にきて、私はとても驚きました。それに、日本語がぜんぜんわからなくて、日本の文化や習慣についてあまりしりませんでした。ちょっと不安とかんじていました。でも、その始めの日から、日本とジェンはおたがいによくにあうことになりました。なぜかという、銚子の皆さんは私にとっても親切さにしてくださいました。私にとって、早く日本語がわかるし、日本の生活になれるように、一生懸命がんばりました。

大里の家族は一年間、二番目のむすめのように私をあずかりました。私はパパ、ママ、育代お姉さんということをすぐ呼びどになりました。忠弘さんは二か月年上だけでしたから、私はお兄さんと呼ばないことにしました。四人の大里さんたちと親せきと知り合いは私に日本語、日本の文化や習慣をまなぶことを元気にたすけてくださいました。そして、素敵な日本の観光地のりょうを何回もにつれていただきました。それに、ママの知り合いの榎原先生のおかげで、日本ぶよのけいこを毎週さんかする機会がありました。その年の十月に、銚子文化会館で、「藤娘」という踊りを踊りました。

日本に着いてから、銚子市立高等学校にかよい始めました。日本語があまりわからなかったのに、すぐ学校の生活を楽しむことになりました。四月の新学期から2の1組にはいりました。もうアデレードの高校を卒業しましたから、日本の学校の経験はそんなにまじめにださなくてもよかったです。友達がたくさんできて、クラブ活動に茶道部にはいりました。時々フォーククラブにも顔を出して、その時の人気のぐる一ふの「かぐやひめ」の「22さいの別れ」という歌を習って、友達とうたいました。10月に二年生の皆さんと修学旅行にたのしでいきました。

銚子の一年中、私は日記を毎日書きました。17歳のわたしが書いた分を読むのは大変はずかしいことなんです、その一年間の経験のについて読みながら、一つのテーマがつづけて、はっきりわかることができます。一年中、銚子ロータリー・クラブの皆さんが私に大事にしてくださいました。

毎週の水曜日に、私はロータリークラブの例会に出ました。おいしいひるごはんをたべながら、ロータリアンとつきあいて、それぞれの国についておはなししました。50年まえに、もちろん メール、LINE などがありませんでした。国際電話料金は高かったし、海外の国と通信手段は国際郵便だけでした。私がアデレードの家族、友達などに手紙を毎週二・三まい書いていたことをみんな知っていました。ロータリアンから、おこずかいと国際切手をよくいただきました。、そして、銚子ロータリー・クラブのメンバーのおせわで、私はおもしろい経験をさっそいでいただきました。例えば、日本の伝統的な

^{けいけん}田植えなどを経験できました。それに、一人のロータリアンは夏休みのとき、葉山に家族旅行と私にさそえてくださいました。

昭和50年に、銚子の人口はやく9万でした。その9万の中に、外人が二人いました。オーストラリアからカトリック教会のベーカー神父さんと私でした。でも、その一年間の間に私はほんとうにオーストラリア人より日本人ばくなったと感じていました。

ちょうど一年がたってから、私はオーストラリアに帰国しなければなりません。銚子の家族、ロータリークラブの皆さん、「お山」の同級生をさびしくなりました。でも、50年間、私とホストファミリーの大里さんたちはおたがいに連絡を続いて、日本でも、オーストラリアでも、たずねたり、手紙とメールを交換したりしてつづいて、ほんとにしあわせなことだとおもいます。

私は銚子ロータリークラブにすごさせていただいた留学の一年間が私の将来の人生に大切な影響をあたえました。アデレード大学で日本語を勉強して、教育免許をとって、高校の日本語の教師になりました。やく40年間、アデレードの州立と私立の高校で日本語を教えていて、何回も、生徒さんたちを日本研修旅行につれてきました。生徒さんたちに日本の素敵な文化と日本人の親切さをわたしのように学なべさせて、とてもうれしいことだとおもいます。このような経験は国際理解をふかかつなぐことにとっては、たいへん重要なことではないか。

国際理解努力のため 銚子ロータリークラブの皆さん一過去と現在と未来 一ほんとうにかんしゃしております。

